



	書名	著者名	出版社	価格 (税込)
【1】	フォルトゥナの瞳	百田 尚樹	新潮文庫	781 円

推薦図書の説明

自動車塗装工場で黙々と働く日々を送っていた主人公は、突然「他人の死の運命」を視る力を手に入れ、生活が一変します。「死の迫る人を救いたい」という思いは、無情にも彼を窮地へと追いやり…生死を賭けた衝撃のラストには心震える愛と運命の物語です。私達は、何気なく生きている毎日の中でも、見えない未来を掴むために選択、決断をしています。自分が数々の選択をして、現在の自分につながり、こうして生きていられることは「奇跡」なんじゃないか、平凡な毎日にも意味があるのではないかと考えさせられる本です。ぜひ読んでみてください。

	書名	著者名	出版社	価格 (税込)
【2】	本日は、お日柄もよく	原田マハ	徳間書店	712 円

推薦図書の説明

OL 二ノ宮こと葉は、片思いをしていた幼馴染の結婚式に暗い気持ちで出席していた。しかし、そこで衝撃的で感動的なスピーチと出会い、スピーチライターへ転職する。心に残る名言が多く含まれており、言葉が持つパワーや人に寄り添う温かさが心に染み入る作品である。

	書名	著者名	出版社	価格（税込）
【3】	自閉症の僕が跳びはねる理由— 会話のできない中学生がつづる 内なる心	東田直樹	エスコアール	1,400円

推薦図書の説明

養護学校中学2年(当時)の著者が自閉症について「どうして目を見て話さないのですか?」「手のひらをひらひらさせるのはなぜですか?」等50以上の質問に答えます。人との会話が困難で気持ちを伝えることができない自閉症者の心の声を記しています。自閉症者本人が語る真実で自閉症の概念が変わります。思いを伝えたくても伝える術のない子どもたちの心の奥の声をわかりやすく、ストレートに、伝えてくれたこの本を一人でも多くの方に読んで貰いたいです。

	書名	著者名	出版社	価格（税込）
【4】	スコアレ no. 4	宮下奈都	光文社	628円

推薦図書の説明

おとなに近づかってこういうことかも——そう思わせてくれる作品です。悩んでいい、すれちがっていい、立ち止まっていい、その先できっと大切なものが見つかります。

	書名	著者名	出版社	価格（税込）
【5】	じみへん倫理教室	南部ヤスヒロ	小学館	1,540円

推薦図書の説明

「人はなんのために、生きているのか。」多感な高校生にこそ、この問題について考えてほしい。高校倫理の教員として長く教壇に立たれた筆者が、日々の授業をヒントに書き上げた倫理の入門書。名作漫画『じみへん』を題材に、倫理について、人生について楽しく学ぶことができる一冊。

【6】	書名	著者名	出版社	価格（税込）
	空想科学読本シリーズ	柳田理科雄	KADOKAWA	各 1,000 円程度

推薦図書の説明

身の回りのことに疑問を持ち、解決するという姿勢は社会にでて大きく役に立つ。このシリーズはそんな何気ないことを、徹底的に、科学の目線で追究している本である。この本を読むことで、自分の身の回りには沢山の不思議が転がっていて、それが学びに繋がりが、自分の将来を決める材料になるかもしれないということに気づいてほしい。また、高校で学習する、より専門的な理科の内容も溢れている。ぜひこの本を読んで、高校での理科の学習をワクワク楽しみにしてほしい。

